

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想<小・家庭>

特別研修員 家庭 大河原 真奈美 (小学校教諭)

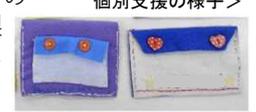
題材名 『はじめてみよう ソーイング』 (第5学年) 全10時間計画

## 題材のねらい

生活を振り返り、針と糸で生活を楽しく便利にするものづくりができないかを考え、手縫いやボタン付けをしたり、英語カード入れを製作したりする実践的・体験的な活動を通して、手縫いに関する知識及び技能を身に付けるとともに、生活を豊かにする布小物を製作しようとする実践的な態度を育成する。

## 地域の人材を活用した題材構想

本題材では、生活を豊かにするための布を用いた制作として、外国語の授業で使用している英語カードを入れるための小物入れの製作を題材の課題として掲げました。つかむ過程では、生活の中から問題を見だし、課題への必要感をもたせました。追究する過程では、制作に必要な知識や技能を身に付けられるように、学習環境の整備と個別指導の充実のために、地域のパッチワーク教室の先生にボランティアとして、全8時間を支援していただきました。まとめる過程では、英語カード入れの発表会を行い、身に付けた知識や技能を自覚させるとともに、新たな課題に気付けるようにし、今後の実践につながるようにしました。

過程	主な学習活動	
つかむ(1)	<p><b>1. 題材の課題を設定する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の中から、針と糸を使って解決できる問題を見出す。</li> <li>○見出した問題を基に、学習の課題を立てる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オリジナル英語カード入れを作るには、どうしたらよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を基に学習計画を立てる。</li> </ul>	<p style="text-align: center; color: #e91e63;">学ぶ必要感をもたせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○補修が必要な布製品の写真を見せ、生活の中から問題を見ださせ、針と糸が使えると、どのようなことができるかを具体的にイメージできるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>体操着の名札が取れそうになっていて、困るな。</p>  </div>
追究する1(5)	<p><b>2. 題材の課題の解決に必要な知識及び技能を習得するための実践的・体験的な活動をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○裁縫用具の名称や針と糸の扱い方を知り、玉結びと玉どめの仕方を知る。</li> <li>○縫い取りの仕方を知り、玉結び、玉どめをして、練習布に名前を縫い取る。</li> <li>○ボタンの付け方を知り、二つ穴ボタンを練習布に縫い付ける。</li> <li>○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いの縫い方や特徴を知り、練習布になみ縫い、返し縫い、かがり縫いを練習する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <span style="margin-right: 50px;">&lt;縫い目を見て課題を話し合う様子&gt;</span> <span>&lt;練習布にボタンを付ける様子&gt;</span> </p>	<p style="text-align: center; color: #4caf50;">地域の人材を活用した指導</p> <div style="border: 1px solid #4caf50; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: #00796b;">安心・安全に活動できる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のねらいや支援方法、児童の実態について、ボランティアの方と授業前に打ち合わせを行い、共通理解を図り、連携した指導を行えるようにする。</li> <li>○整理整頓の声掛けや教師の指示の確認をし、作業スペースを確保させ、安全に集中して活動できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">&lt;ボランティアとして支援していただきたいこと&gt;</p> <p style="font-size: x-small;">①あたたかく見守ってください。 ○やってみせる(見本・支援) ×やってあげる(手伝い) ②判断に迷うときは、すぐにご相談ください。 ③児童の安全確保に、ご留意ください。</p> <p style="text-align: right; font-size: x-small;">&lt;ボランティアの方の名札の裏に記載した内容&gt;</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid #4caf50; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: #00796b;">オリジナリティのある作品の計画と実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○英語カード入れ製作の実習計画を立てさせる際は、使いやすい大きさや形のみを全体で確認し、児童の発想を生かした工夫ができるようにする。ボランティアの方には個々の工夫に合わせた製作を支援していただき、目的に応じた縫い方で製作できるようにする。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;">  <div style="margin-left: 10px; font-size: x-small;"> <p>&lt;ボランティアの方による個別支援の様子&gt;</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;">  <div style="margin-left: 10px; font-size: x-small;"> <p>&lt;完成した作品&gt;</p> </div> </div> </div>
追究する2(3)	<p><b>3. 題材の課題の解決に向けた実習計画を作成する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した知識や技能を活用して、工夫しながら、オリジナル英語カード入れ製作の実習計画を立てる。</li> </ul> <p><b>4. 題材の課題の解決に向けた実習をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実習計画を基に、目的に応じた縫い方で英語カード入れを製作する。</li> </ul>	
まとめる(1)	<p><b>5. 題材の課題の解決についてまとめたり、振り返ったりする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○班で発表会をして、題材を通して身に付けられた知識や技能を振り返らせ、学習課題について解決できたかを確認し、今後の生活に生かしてみたいことを考える。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px; font-size: x-small;"> <p>&lt;英語カード入れの発表会の様子&gt;</p> </div> </div>	<p style="text-align: center; color: #9c27b0;">実践につなげる発表会の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分らしいデザインの工夫、使いやすさ、丈夫さの三つの観点で実習を自己評価させてから発表会を行う。改善策を班で検討させることで、多様な改善策を考えられるようにし、今後の実践につなげられるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なみ縫いだと取れやすいから、返し縫いをして丈夫に名札を付け直してみよう。</p>  </div>

指導例：『はじめてみよう ソーイング』（第5学年 第1時）

1 生活の中から問題を見いだす。

○学校生活の中で自分が使っている布製品を見付けさせる。

T：学校で使っている布製品にはどのようなものがありますか。

S：上履き袋。 S：コップ入れ。 S：ぞうきん。

T：では、こんな経験はありませんか。

S：ぼくの体操着も、名札がはがれてきています。

S：私も赤白帽子もゴムが伸びたので、新しいゴムに替えてもらいました。

T：他にも、学校生活で使えるとよいなと思うものはありますか。

S：学習カードが引き出しの中でバラバラになっているから、入れるものがあるとよいな。



<名札がはがれた体操着>



<ゴムが伸びた赤白帽子>

2 本時のめあてをつかむ。

T：どのような課題がよいでしょうか。

S：針と糸を使って布小物を作るのがよいと思います。

めあて 針と糸を使って作れる生活を豊かにする布小物を考えよう。

3 見いだした問題を基に、題材の学習課題を立てて、学習の見通しをもつ。

○共有する問題を基に、解決すべき課題について話し合う。

T：どのような布小物を作ったらよいでしょうか。

S：英語カード入れを作りたいです。外国語の授業で2年間使えます。

S：好きな色で作って、オリジナルのデザインにしたいです。

題材の課題 オリジナル英語カード入れを作るには、どうしたらよいだろうか。

○小物入れの見本を見たり、教科書を見たりして、学習計画を立てる。

T：英語カード入れを作るために、どのようなことを学習したらよいでしょうか。

S：まず、裁縫道具の使い方を知りたいです。

S：ボタンで蓋を留めるようにしたいので、ボタンが付けられるようにしたいです。

S：針で縫えるようにしたいです。

S：名前を刺しゅうできるようにしたいです。

S：出された意見を基に、10時間の学習計画を大まかに立ててみましょう。

S：針と糸が使えるようになったら、英語カード入れのデザインを考えて製作計画を立てるのだな。 <学習計画表>

S：オリジナル英語カード入れを作るために、どのようなことを学習していくのが分かりました。

時間	学習内容
1	課題・計画立て
2	裁縫用具使い方
3	縫い取り
4	ボタン付け
5・6	手縫い
7	実習計画立て
8・9	実習
10	発表会

4 一人一人が本時の学習の振り返りをする。

○学習終了後にどのようなことができるようになっていたか考えて、振り返りに書く。

☆針と糸を上手に使えるようになって、かわいい英語カード入れを作れるようになりたい。

☆しっかり練習をして、針を上手に使えるようになりたいな。

指導のポイント

学ぶ必要感をもたせる工夫

○普段使っている布製品を見付けさせたり、補修が必要な布製品の写真を見せたりして、針と糸を使えるようになったらどのようなことができるかを具体的にイメージできるようにし、学習することのよさを考えられるようにする。

題材の課題の工夫

○解決すべき課題について学級全体で話し合わせることで、共通する課題を明確にし、題材の学習後の姿を踏まえて、課題を立てられるようにする。

学習計画の立て方の工夫

○教科書や小物入れの見本を見させて、課題解決のために必要な知識を挙げさせ、それを基に箇条書きで学習計画表を作ることで、題材全体の学習の見通しをもてるようにする。

本題材への意欲を高める振り返りの工夫

○本題材の学習を通して、どのようなことを学びたいのかを主体的に考えさせる。

指導のポイント

指導例：『はじめてみよう ソーイング』（第5学年 第4時）

1 本時のめあてをつかむ。

○ボタンの付け方見本を見て、本時のめあてをつかむ。

T：本時はボタン付けの学習をします。まず、ボタンの種類や名称、役割について、学習しましょう。

S：ボタンの種類や名称、役割について分かりました。

T：ボタンを縫い付けた布を配るので、気付いたことを発表してください。

S：穴に通すのが一回だと、ボタンがぐらぐらして取れそうです。

S：裏の縫い目がそろっていて、点のように見えます。

S：見た目がきれいでボタンがしっかり付いています。

T：学習後には、どのようにボタンを付けられるようになりたいですか。

S：見た目がきれいで、取れないように付けられるようになりたいです。

めあて 見た目がきれいで、取れないようにボタンを付けるにはどうしたらよいのだろうか。

2 実践的・体験的な活動を行う。

○ボタンの付け方を知り、練習布に二つ穴ボタンを付け、気付いたことをワークシートに書く。

T：ボタンを付ける実演を実物投影機で映します。

S：まず、裏側から針を刺すのだね。

S：二本取りのときは、2回糸を巻くのだね。

T：実際にボタンを付けてみましょう。

S：手順通り付けたけれど、緩くなってしまった。

S：裏側をきれいに緩まないように付けるのが難しいな。

○班でボタンを見せ合ったり、意見を交流したりして、気付きをまとめる。

T：ボタンを付けて、気付いたことをホワイトボードにまとめましょう。

S：糸をきつく巻くのが難しかった。

S：〇〇君のボタンは、足の隙間もちょうどよいし、しっかり縫い付けられている。

S：布を机に置いて糸を巻くのではなく、布を持ち上げた方がしっかり巻けるよ。

S：布を持ち上げることが、ボタンをきれいに取れないように付けるためのコツだね。



<ボタンを縫い付ける様子>

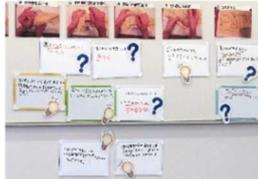


<班での交流する様子>

3 全体で共有し、まとめる。

○班ごとの気付きを基に、ボタンの付け方について、一般化した言葉でまとめる。

T：班の話合いで出てきたボタン付けの課題やコツを盛り込みながら、ボタンの付け方をまとめましょう。



<班から出された課題やコツ>

S：ボタン付けでは、穴に糸を数回通すことや、足に糸をきつく巻くこと、裏側の縫い目を一か所にまとめることが大事だと分かった。

S：布を持ち上げて、二本取りにした方が丈夫に付けられることも分かった。

4 本時の振り返りをする。

○英語カード入れ製作に生かしたいことをワークシートに書く。

☆隙間を空けすぎないようにして、しっかり足に糸を巻いて付けたい。

☆コツを聞いたので、それを生かして、きれいに取れないようにボタンを付けたい。

主体的なめあてにする工夫

○実物投影機でボタンを拡大して映したり、付け方のよい見本を見せたりすることで、ボタンをどのように付けたいのか見通しをもてるようにし、児童の言葉からめあてを設定して、主体的な学びにつなげる。

実演や資料で活動を支援する

○実物投影機を使い、縫い手の目線で実演を映し、工程写真を順番に貼らせることで、ボタンの付け方を理解させ、ボタン付けの具体的なイメージをもたせる。

○手順カードをヒントとして、ボタンを縫い付けられるようにする。



<ボタン付け手順カード>

気付きを引き出し、整理させる

○実物を見せ合ったり、班で話し合ったりさせることで、よい点、改善点に気付けるようにする。

○気付きを整理するために、コツには電球マーク、うまくできなかった課題には、はてなマークを付けて、ホワイトボードに書かせる。



<電球マーク・はてなマーク>

児童の気付きを生かしたまとめにする

○班ごとのまとめを工程写真の下に貼らせて、児童の気付きを本時のまとめにつながるように整理して板書する。

○児童の気付きを生かして、ボタンの付け方をまとめる。

指導例：『はじめてみよう ソーイング』（第5学年 第10時）

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画における本時の位置付けを確認する。

T：本時は学習のまとめとして、英語カード入れの発表会をします。どのようなめあてがよいでしょうか。

S：「友達の英語カード入れの工夫を見付けて、これからの生活に生かそう」がよいと思います。

S：お互いの英語カード入れについて、アドバイスもできると今後の製作に生かせると思います。

めあて 英語カード入れ発表会をして、これからの生活に生かせるようにしましょう。

2 実践の評価を基に、改善策を検討する。

○英語カード入れを三つの観点で評価して、改善策を考え、班で発表会を行い、改善策を検討する。

T：自分で英語カード入れの評価をして、ワークシートによくできたところ、うまくいかなかったところや改善策を書いてみましょう。



<改善策を検討している様子>

S：カード入れの中に仕切りを付けて、カードを分類できるように工夫できた。

S：長さを計り間違っ、計画より小さなカード入れになってしまった。正しく長さを計って、確認してから布を裁つようにしたい。

T：班で発表会をして、友達のよいところを見付けたり、改善策を考えたりしましょう。

S：〇〇さんはボタンを二個付けていて、蓋の端がめくれないので、使いやすいそうです。

S：〇〇さんのように細かくまっすぐ縫えると見た目がきれいだし、丈夫だと思いました。



<完成した作品>

S：布を切り間違えると出来上がりのサイズが小さくなってしまいますので、しっかりサイズを計って確認してから切ることが大事だと思いました。

3 題材の課題についてのまとめをする。

○題材を通して身に付けられた知識や技能を振り返り、学習課題について解決ができたか確認する。

T：題材を通して、どのようなことを身に付けることができましたか。

S：布小物の作り方が分かり、針と糸を使って縫えるようになりました。

S：自分なりの工夫をした布小物入れを作れるようになりました。

4 題材全体の学習について振り返りをする。

○今後の生活に生かしたいことをワークシートに書く。

☆おじいちゃんに免許ケースを作ってプレゼントしたい。

☆キャンプで使う軍手に名前前の縫い取りをして持っていきたい。

☆大工のお父さんに、のこぎりをしまうケースを作ってあげたい。

☆水着の名札がはがれているので、自分で縫って付けようと思う。

指導のポイント

児童との対話からめあてを設定する

○本時は題材の学習のまとめであることを確認させ、実際の生活に生かすことにつながるようにする。

評価の工夫

○自分らしいデザインの工夫、使いやすさ、丈夫さの三つの観点で作品を評価させ、自分の考えの根拠や理由を明確にして、改善策を考えられるようにする。

多様な意見を引き出す工夫

○班で交流させることで、個人では思い付かなかった発想や工夫に気付けるように、改善策や新たな課題について検討できるようにする。

学びや変容を自覚させる

○学習計画を振り返らせ、オリジナル英語カード入れを作るために身に付けた知識や技能を実感できるようにする。

これからの実践への意欲を高める

○友達の作品や意見で参考になったことを書かせたり、振り返りを発表させたりして、これからの生活で布小物の製作や補修を進んで行えるようにする。

# 家庭科学習指導案

令和元年6月～7月 第5学年 指導者 大河原 真奈美

## I 題材名 「はじめてみようソーイング」

## II 学習指導要領上の位置付け

### B 衣食住の生活

#### (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。

(イ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。

イ 生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

## III 目標

オリジナル英語カード入れを製作する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 製作手順や製作計画、手縫いの仕方や用具の安全な取り扱い方などを理解し、針や糸などを安全に使い、目的に応じた縫い方で布小物を製作することができる。

(知識及び技能)

イ 生活を豊かにする布小物の製作計画について考え、デザインや製作手順を工夫して、製作している。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 針と糸を使った布小物の製作に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。

(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／10）

1 ねらい 針と糸を使ってできることや生活に役立つ布小物を考え、学習計画を立てる活動を通して、これからの学習への見通しや意欲をもてるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 生活の中から問題を見いだす。（10分）	○学校生活の中で自分が使っている布製品を見付け、布製品や布のよさについて考えさせる。 ○学校で使っている布製品は、家族が購入したり、製作したりしたものであり、補修や手入れなども家族に任せていることに気付かせる。 ○写真を提示して、このような経験がないか問い掛ける。 (赤白帽子のゴムが伸び切っている、体操着の名札がはがれてしまっている、英語カードが引き出しの中でバラバラになって折れてしまっている)		
2 本時のめあてをつかむ。（3分）	めあて 針と糸を使って作れる生活を豊かにする布小物を考えよう。		
3 見いだした問題を基に、題材の課題を立てて、学習の見通しをもつ。（27分）	○見いだした問題を解決するためには、どのような課題を立てるか考え、発表させる。 ○針と糸を使って製作できる生活に役立つ布小物として、小物入れの見本を見せる。	題材の課題 オリジナル英語カード入れを作るには、どうしたらよいだろうか。	
	○小物入れの見本を見たり、教科書を見たりして、課題解決のために必要な学習を発表させる。 ○学習計画を立て、題材の課題解決の見通しをもたせる。		
	手縫いに興味をもち、学習への意欲をもっている。＜ワークシート・発言(1)＞		
4 一人一人が本時の学習の振り返りをする。（5分）	○本題材の学習終了後に、どのようなことができるようになっていたかを考えさせ、これからの学習への意欲付けを図り、見通しをもたせる。 ☆針と糸を上手に使えるようになって、かわいい英語カード入れを作れるようになりたい。 ☆しっかり練習をして、針を上手に使えるようになりたいな。 ☆針と糸を上手に使えるようになって、名札を自分で付けたり、赤白帽のゴムを替えたりしたい。		

## V 本時の展開 (4/10)

1 ねらい ボタン付けの実演を見たり、コツを伝え合ったりする活動を通して、ボタンの付け方が分かり、ボタンを布に縫い付けられるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(7分)			※ボランティアの支援有り。
○学習計画を基に、本時、学習することについて問い掛ける。			
○実物投影機で様々な材質、大きさや形状が異なったボタンを見せて、ボタンの種類と名前を伝え、ボタンの役割を考えさせる。			
○ボタン付けのよい例と悪い例を見比べさせて、どのようにボタンを付けられるようになりたいか問い掛ける。			
めあて 見た目がきれいで、取れないようにボタンを付けるにはどうしたらよいのだろうか。			
2 実践的・体験的な活動を行う。(23分)			
○実物投影機でボタン付けの実演を拡大して映し、ボタンの付け方や手順を確認しながら見るように伝える。			
○ボタン付けの手順を問い掛けながら、工程写真を順番に貼っていき、手順を確認させる。			
○隙間を空ける理由や糸を巻く理由を問い掛ける。			
○ボタン付けの手順カードや見本を見ながら、二つ穴ボタンを練習布に縫い付けるように伝える。			
○分からない所は班でお互いに確認しながら縫い付けるよう助言する。			
○縫い付けたボタンをチェックシートで確認して、気付きをワークシートに書かせる。			
○班でお互いのボタンを見合ったり、意見交流したりして、上手にボタンを付けるためのコツや課題をホワイトボードにまとめるように伝える。			
3 全体で共有し、まとめる。(10分)			
○ホワイトボードを黒板に貼り出し、ボタンの縫い付け方をまとめて模造紙に書く。			
ボタンの付け方が分かり、ボタンを縫い付けることができる。<練習布・発言(3)>			
4 本時の振り返りをする。(5分)			
○英語カード入れづくりに生かしたいことを書くように伝える。			
☆隙間を空けすぎないようにして、しっかり足に糸を巻いて付けたい。			
☆コツを聞いたので、それを生かして、きれいに取れないようにボタンを付けたい。			

## V 本時の展開 (10/10)

1 ねらい 英語カード入れづくりの実践を評価・改善することを通して、今後の生活に生かせるように新たな課題を見付け、実践につなげることができるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○班ごとに英語カード入れの発表会をすることを伝える。 ○どのようなめあてをもって発表会を行うか問い掛ける。		
めあて 英語カード入れ発表会をして、これからの生活に生かせるようにしよう。			
2 実践の評価を基に、改善策を検討する。(20分)	○英語カード入れをデザインの工夫、使いやすさ、丈夫さの三つの観点で評価して、よくできたところや改善策をワークシートに書くように伝える。 ○班で発表会をして、相互評価を行い、改善策やみんなに紹介したい工夫、新たな課題について検討し、ホワイトボードにまとめさせる。		
3 題材の課題についてのまとめをする。(15分)	○ホワイトボードを黒板に貼り出し、改善策や新たな課題を発表し合い、布小物の製作についてまとめる。 ○「つかむ」学習で立てた学習計画表を用い、題材を通して身に付けることができた知識や技能について振り返るように伝える。		
布小物の製作についてまとめ、これからの生活の実践に生かそうとしている。 ＜ワークシート・発表(1)＞			
4 本時の振り返りをする。(5分)	○英語カード入れづくりに生かしたいことを書くように伝える。 ☆隙間を空けすぎないようにして、しっかり足に糸を巻いて付けたい。 ☆コツを聞いたので、それを生かして、きれいに取れないようにボタンを付けたい。		

指導計画 家庭科 第5学年 題材名「はじめてみよう ソーイング」(全10時間計画)

目標	<p>オリジナル英語カード入れを製作する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 製作手順や製作計画、手縫いの仕方や用具の安全な取り扱い方を理解し、針や糸などを安全に使い目的に応じた縫い方で布小物を製作することができる。(知識及び技能)</p> <p>イ 生活を豊かにする布小物の製作計画について考え、デザインや製作手順を工夫して、製作している。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 針と糸を使った布小物の製作に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。(学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) カード入れの製作や手縫いに関心をもち、目的に応じた縫い方で製作し、製作する楽しさや活用する喜びを感じている。</p> <p>(2) カード入れの使いやすさ、丈夫さ、自分の好みなどを考えて、大きさ、縫い方、デザインを工夫している。</p> <p>(3) 製作に必要な裁縫用具の安全な取扱いや、玉結びや玉どめ、基本縫いやボタン付けなどができ、目的に応じた縫い方でカード入れを製作できる。</p> <p>(4) 玉結び、玉どめやなみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどの手縫いの縫い方や、裁縫道具の安全な取扱いや製作手順について理解している。</p>			
過程	時間	<p>○ねらい ☒めあて</p>	<p>☆振り返り(意識)</p> <p>◇評価項目 〈方法(観点)〉</p>	
つかむ	1	<p>○針と糸を使ってできることや生活に役立つ布小物を考えたりする活動を通して、これからの学習への意欲や見通しをもてるようにする。</p> <p>針と糸を使って作れる生活を豊かにする布小物を考えよう。</p> <p>題材の課題 オリジナル英語カード入れを作るには、どうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆針と糸を上手に使えるようになって、かわいい英語カード入れを作りたい。</p> <p>☆針と糸を使えるようになって、名札を自分で付けたり、赤白帽のゴムを替えたりしたい。</p>	<p>◇手縫いに興味をもち、学習への意欲をもっている。</p> <p>〈ワークシート・発言(1)〉</p>
追究する1	1	<p>※追究する1・2の過程で、ボランティアの支援有。</p> <p>○教師の実演を見ながら、糸と針を使う活動を通して、裁縫道具の名称や扱い方を知り、玉結びと玉どめの仕方が分かるようにする。</p> <p>縫い始めと縫い終わりはどのような始末をしたらよいのだろうか。</p>	<p>☆縫い始めや終わりに玉結び・玉どめがないと糸が抜けてしまうのだな。</p> <p>☆縫いやすい糸の長さがあるのだな。</p>	<p>◇針や糸の扱い方や玉結びと玉どめの仕方や必要性が分かる。</p> <p>〈ワークシート・観察(4)〉</p>
	1	<p>○玉結びや玉どめをしながら名前を縫い取る活動を通して、玉結びや玉どめや縫い取りができるようにする。</p> <p>縫い取りや玉結びや玉どめをするには、どうしたらよいのだろうか。</p>	<p>☆玉どめがフェルトから離れないように、爪で押さえないといけないのだな。</p> <p>☆縫い取りで、カーブがある時には、区切りながら細かく縫い取るとよいのだな。</p>	<p>◇玉結びや玉どめをしてカタカナで自分の名前を縫い取ることができる。</p> <p>〈練習布・観察(3)〉</p>
	1	<p>○ボタン付けの実演を見たり、コツを伝え合ったりする活動を通して、ボタンの付け方が分かり、ボタンを布に縫い付けられるようにする。</p> <p>見た目がきれいで、取れないようにボタンを付けるにはどうしたらよいのだろうか。</p>	<p>☆隙間を空けすぎないようにして、しっかり足に糸を巻いて付けたい。</p> <p>☆コツを聞いたので、それを生かして、きれいに取れないようにボタンを付けたい。</p>	<p>◇ボタンの付け方が分かり、ボタンを縫い付けることができる。</p> <p>〈練習布・発言(3)〉</p>
	2	<p>○教科書や製作見本や動画を見ながら、縫う活動を通して、なみ縫い、返し縫い、かがり縫いができるようにする。</p> <p>手縫いにはどのような縫い方があって、どのように縫えばよいのだろうか。</p>	<p>☆なみ縫いは、針を表、裏と交互に刺して縫うのだな。</p> <p>☆本返し縫いでは、手順が分からなくなりやすいから「バック」と心の中で言いながら縫うと間違わない。</p>	<p>◇なみ縫い、返し縫い、かがり縫いの縫い方が分かる。</p> <p>〈ワークシート・発言(4)〉</p> <p>◇手縫いで縫うことができる。〈練習布・観察(3)〉</p>
追究する2	1	<p>○事前に考えてきた英語カード入れの大きさや縫い方、デザインを班で検討させる活動を通して、使いやすさ、丈夫さ、好みのデザインを意識した工夫ができるようにする。</p> <p>使いやすく、丈夫で、自分好みの英語カード入れを作るには、どのような工夫ができるだろうか。</p>	<p>☆縦長の形だと中のカードが取り出しづらいから、横長の形の方が使いやすい。</p> <p>☆周りを本返し縫いにした方が、隙間もないし、丈夫になるな。</p>	<p>◇英語カード入れの使いやすさや丈夫さ、自分の好みなどを考えて、大きさ、縫い方、デザインを工夫している。</p> <p>〈ワークシート・観察(2)〉</p>

	2	<p>○学習したことを生かして、目的に応じた縫い方で製作できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>学んだことを生かして、工夫しながらオリジナル英語カード入れを作ろう。</p> </div>	<p>☆縫い目を揃えて細かく縫って、見た目がよく、丈夫に作ろう。</p> <p>☆カード入れの裏側にポケットを縫い付けて、よく使うカードを収納できるように工夫しよう。</p>	<p>◇目的に応じた縫い方で製作できる。</p> <p style="text-align: center;">＜製作物・観察(3)＞</p> <p>◇使いやすく自分らしいデザインになるように工夫している。</p> <p style="text-align: center;">＜製作物・観察(2)＞</p>
まとめ	1	<p>○英語カード入れを評価・改善することを通して、布小物入れの作り方をまとめ、今後の実践に生かせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>英語カード入れ発表会をして、これからの生活に生かせるようにしよう。</p> </div>	<p>☆おじいちゃんに免許ケースを作ってプレゼントしたい。</p> <p>☆キャンプで使う軍手に名前の縫い取りをして持っていきたい。</p>	<p>◇布小物の製作についてまとめて、これからの生活の実践に生かそうとしている。</p> <p style="text-align: center;">＜ワークシート・発表(1)＞</p>